



竜北通信 高岩

甲斐市立竜王北中学校
学校だより
発行 校長 依田宏記
令和3年度 第10号
2022.3.9

卒業・進級 それぞれが次のステップへ

令和3年度も残り少なくなってきました。3年生は明日が卒業式。公立高校の入試が終わってからは、残りの中学校生活を惜しむかのように学年全体での活動が中心になり、愛校作業や卒業式の練習に取り組んでいます。中学校を卒業すると、それまでは生まれ育った地域が中心となっていた活動が、その場を離れ、より大きな社会とつながっていきます。当然友だち付き合いも広がっていくのですが、逆にこれまでの付き合いが終了してしまう場合も出てきます。私自身も、中学校を卒業してからもう40年以上も一度も会っていない仲の良かった友だちが何人もいます。いつもこの時期になるとそんなことを思い出し、時には中学校の卒業アルバムなども眺めたりして懐かしんでいます。そうは言っても、今は私たちのころとは違って、つながりを保ち続ける方法がたくさんあるので、みなさんにそんな心配は必要ないかもしれませんね。

1・2年生も修了式までの登校日数は11日を残すのみです。一月もしないうちに新しい1年生が入ってきて、みなさんが北中生徒会の中心になっていきます。上級生としての責任や、先輩としてのお手本的な振る舞いが求められてきますから、十分に自覚しておいてください。私たちも、新年度も感染症の影響がある一年になってしまうのだろうとは覚悟をしていますが、いろいろな工夫をして皆さんの学びを進めていきたいと思っています。一緒に意義ある一年を創っていきましょう！

卒業生の想いを受け取って

今日の卒業式の予行練習で、1・2年生は何を感じたでしょうか。本来ならば、卒業式は1・2年生も参加して卒業生の想いを受け取り、引き継いでいく決意を固める機会になるはずのところ。残念ながらこれもまた感染症の影響を受けて、出席者を絞る会場のスペースを広くとるため、1・2年生の参加は代表者だけに限らざるを得なくなりました。そのため、今日の予行に全校で参加し、卒業生の姿を見ておいてほしいと思っていました。

卒業生一人一人から後輩であるみなさんへの思いが語られました。言うまでもありませんが、3年生のみなさんは、この一年間様々な制限をうけながら、前向きに明るく生活し、全校の活動を引っ張ってくれました。部活動さえ思いどおりにできない日々が多かったのですが、その毎日をどんな思いで過ごしていたか、今日の言葉から窺えたと思います。卒業生からの思いを、1・2年生のみなさんがどう受け取り、来年度の活動にどう生かすか。それは、来年度の卒業式に際して、現在の2年生のみなさんが何を語るかに凝縮されてくるのだと思います。1年生は再来年の卒業式がその場です。今日の言葉の中で、心に残るフレーズがあったら、忘れないようにメモしておきましょう。それは、きっと来年度皆さんの活動の糧となるはずですから。

感染症対策についてのお願い

(引き続きご協力ください)

- ・「新山梨方式」が適用される場合には、感染の拡大を抑えるために、PCR検査の実施などにご協力をお願いいたします。
- ・各家庭において検温と体調チェックを行い、発熱や咳、倦怠感があるなど体調不良時は登校させないようお願いいたします。「健康チェック表」の記入確認もお願いいたします。
- ・同居のご家族の皆様も、毎日の体調確認に取り組んでいただくとともに、心当たりな症状がある場合には生徒の登校についてもご配慮ください。
- ・生徒本人や同居のご家族が濃厚接触者に指定されたり、PCR検査を受けることになったときには、学校に連絡をお願いいたします。年末年始も含め休日は甲斐市役所(055-276-2111)に、学校に緊急の連絡を取りたい」と伝え、学校名・学年・氏名・連絡先の電話番号のみ伝えてください。
- ・通学時等やむを得ない場合を除き、不要不急の外出は避けてください。また、外出する際は、混雑している場所や時間をさけていただけますようご指導をお願いいたします。